

# 図書館からのお知らせ

～ 新着図書のご案内～

- ・「天皇の料理番 上・下」 杉森 久英
- ・「本能寺の変 431年目の真実」 明智 憲三郎
- ・「人生がときめく片づけの魔法」 近藤 麻理恵
- ・「ピンクとグレー」 加藤 シゲアキ
- ・「リンゴかもしれない」 ヨシタケ シンスケ など



## 和紙の里コーナー

### 【第14回 東秩父写友会作品展】



東秩父写友会では、毎年恒例の作品展を下記日程で開催いたします。第14回目となる今回も、さまざまな場所・場面の多彩な作品をご用意してお待ちしていますので、皆さまふるってお越しください。

記

日時 9月19日(土)～23日(水)  
午前9時～午後4時  
場所 東秩父村和紙の里 製造所

東秩父村和紙の里 ☎82-1468

### 東秩父俳句会

文  
芸

来て見れば青ほほづきの膨らめり 啓子

通ひ路やくちなしの花匂ひ立つ 静枝

朝採りの曲り胡瓜や刺ひかる 芳

紫陽花の小徑蜜蜂巣箱あり はつ志

暮れなづむ山の端輝やく御堂かな きよし

山の家庭に出て見る火花かな 洋子

夕空の赤く染りて梅雨明る 真吾

庭仕事陰に入りては汗拭ふ 利江子

裏川の闇より螢飛び来たり 侑子

梅雨晴れの庭に降りけり雀二羽 富美子

梅雨晴れやあめんぼ泳ぐにはたづみ 厚子

のうぜん髪の飾りなり咲き盛る 功子

蟬の声赤子の声と重なりて 祐也

蟬鳴くや老父母と体操す 利雄

送り梅雨はたと止みては強く降る 美子

### 白石短歌会

突然に五年の戦地より帰国 夫との対面忘れぬ感激 渡邊 京子

諸々の嘆きの想ひ忘れ得ぬ あの八月が巡って来たり 渡邊美枝子

折に触れ平和の意味を若き等に 伝ふるは老ひても我等の役目 坂本 美江

村長を五期勤め上ぐ白石英雄氏の 一周忌迎え合歓の忌と記す 白石 礼子

終戦記念日に想う長慶寺の 壁に無念の一兵士の書 渡邊阿里子

### みどりの杜俳句会

秋扇静かにたゝむ奉灯会 富田 公子

軒風鈴一句吊るして留守をもる 宮崎 昌子

朝霧や官の倉山に守られて 篠澤 ひこ

霧深き九十九の峠越えにけり 笠原 勝子

風入れて盆棚作る無住寺 鈴木 正義

遠き日や五穀供えて秋祭り 小林 梢月

親が笛子が獅子舞えり秋祭り 旭 青草

山百合や我家へ坂道上り下り きみ

竹林の中紫陽花の青の濃し とり

白百合の匂ひゆかしや咲き揃ふ ケフ

梅雨晴間退院後の友訪れ来 寿子

雨の打ち木陰紫陽花しなひけり カナメ

紫陽花の七・八分咲き巡りけり トヨ

山荘の裏山斜面百合白し 好子

